

## 1月9日 CVV 定例会議事要旨

日時：2024年1月9日(火) 午後5時半から

場所：(一社) 近畿建設協会会議室

参加者 (順不同・敬称略)：24名 (会員・会友)

古田・川谷・青木・宇野・南荘・今岡・原・古川・野坂・鈴木巖・夏秋・田中・石原・栗田・高田・齋木・武内・下土居・武・阿部・先本・坂東・荒武・黒山

オブザーバー参加：鈴木威氏 (新規加入予定者)

小瀬川氏、小柳氏 (地盤工学会関西支部)

### <配布資料>

- ① 11月6日定例会議事要旨
- ② 地盤工学会関西支部第14回若手セミナー開催報告
- ③ 大和川沿いの橋梁見学会 (3)
- ④ 「聖賢小いきいき活動橋の模型づくり」報告
- ⑤ 2023年度土木遺産調査(奈良市周辺)報告案
- ⑥ 2023年度土木遺産調査アンケート結果(総括)
- ⑦ 2023年度土木学会関西支部予算差引簿

### <主な議事>

古田代表の挨拶の後、新規加入予定の鈴木威氏を下土居会員が紹介しその後ご本人が挨拶された。続いて、黒山が資料確認した。また、川谷幹事長が前回定例会の議事要旨(資料①)を確認した。

1. 地盤工学会関西支部第14回若手セミナー開催の報告(資料②)
  - ✓ 地盤工学会関西支部幹事の小瀬川氏から資料②に基づき若手セミナーの開催概要を報告した。また、参加者からの感想も紹介された。次年度も講師の派遣をお願いしたい。(小瀬川)
  - ✓ 年齢ギャップを感じたが参加者が熱心であったとの感想である。(原)
  - ✓ 講師役の祝会員から「グループ討議は有意義であったのでCVVの活動に活かしては」との感想を聞いた。(南荘)
  - ✓ 時間配分は適切であったか。(川谷)  
→質疑応答の時間が予定より短くなるなど時間配分や時間管理の不備が反省点。(小瀬川)
2. 技術継承WGの活動について(川谷、夏秋)
  - ✓ 土木学会関西支部シビルアカデミーとの関係構築が成立しなかったので今後の方針を議論したい。(川谷)
  - ✓ CVVから売り込み、押しつけはしない方針と考えていたが、皆さんの意見を聞きたい。(夏秋)
  - ✓ 技術そのものではなく技術者の心構えに絞った話題提供、若手との意見交換は意義がある。ただ、参加者が増えないのが悩み。異なる世代間での意見交換の場は大事では。(小瀬川)
  - ✓ アンケートでの提案(別の会合・研究会との同時開催)への対応は。  
→幹事団で検討していく。(小瀬川)
  - ✓ 参加の若手は本セミナーに何を求めているのか。最先端の技術なのか、経験から導かれた知恵なのか。(鈴木)  
→幹事団では両者とも目的として今後も開催していきたいと考えている。後者でCVVの力を借りたい。(小瀬川)

- ✓ 祝会員の話題提供は笹子トンネルの事故報告書を読み解き、事故原因や対応の良否といったグループ討議での材料を与えたものである。グループ討議は盛り上がっていた。(南荘)
  - ✓ 今後の活動方針はWG内で議論していく。(川谷、夏秋)
  - ✓ 「CVV な男たち女たち」の改訂は原会員のみ原稿提出があったのでHP上に追加したい。新会員に原稿を書いていただきたい。まとまれば印刷も検討する。(夏秋)
3. 大和川沿いの橋梁見学会の報告(武)
- ✓ 過年度からの経緯と資料③をもとに今回の調査の概要を紹介した。また、資料内容に関して参加者の古川会員から「スーパー堤防の進捗は概ね完成ではなく一部完成としてもらいたい」との提案があった。担当作成の報告書原稿は野坂会員に送ってもらいたい。(武)
4. 「聖賢小いきいき活動橋の模型づくり」報告(鈴木)
- ✓ いきいき教室でのCVVの活動についての過年度からの経緯を紹介した後、資料④をもとに聖賢小での活動内容を報告した。来年度も継続したいと特別参加の教育財団担当者(川上元校長)には伝えている。(鈴木)
  - ✓ 武内会員など参加者からの感想が発表された。それに関連して神戸市「土木の学校」の紹介が野坂会員からあった。
  - ✓ 土木学会関西支部も夏休みに同様の活動を実施しているので参考としては。(古田)
  - ✓ 橋建協でも子供向けの取り組みがある。(下土居)
5. 2023年度土木遺産調査(奈良市周辺)報告(南荘)
- ✓ 資料⑥で奈良市周辺の土木遺産(大仏鉄道、水道施設)の調査結果を報告した。疏水アカデミー小森氏も特別参加された。両施設とも研究会や市職員に案内役を務めていただいたのでわかりやすかった。今後の調査施設に関しては幹事団で協議し定例会で提示したい。また、⑥をもとに参加者アンケート調査結果を報告した。(南荘)
  - ✓ CVVでの活動の活かし方が大事だと思う。土木学会の土木遺産サイトが貧弱なので土木学会にCVVのサイトとリンクするなど、CVV活動の活かし方を検討したい。市民に土木施設の存在や面白さを広報することを主目的に報告書をまとめたほうが良い。(今岡)
  - ✓ 土木学会での対応を簡単に説明した。(黒山)
  - ✓ 学会誌への投稿や年次講演会での発表も検討したい。(南荘)
  - ✓ 原稿をマスコミに持ち込んでみたい。土木の世界とは別の方々の意見を聞きたい。(今岡)
  - ✓ 本(ブルーボックス)の出版も検討したい。(栗田)
  - ✓ 雑誌への投稿を集約して本とする考え方もある。(南荘)
  - ✓ 橋梁調査や土木遺産調査は市民向けの見学会が最終目的であった。本課題(調査の活かし方)は今後も検討していきたい。(川谷)
6. 2023年度CVV会計報告(石原)
- ✓ 資料⑦に基づいて12月末時点での決算見込みを報告した。
7. その他
- ✓ 次回定例会は2024年3月6日(水)に開催する。